

# 【算数・小2・かけ算】①

## 育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 乗法の意味の理解を深め、乗法に関して成り立つ性質をもとに乗法九九を構成し、唱えることができる。
- (思・判・表) 乗法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて表現し、もとなる大きさやそのいくつかを考えて立式することができる。
- (主体態) 身の回りの事象から乗法で表される場面を進んで探したり、乗法が用いられる場面を簡潔に表せるよさに気づいたりして、乗法のきまりを使うよさがわかる。

## ICT活用のポイント

考えのスピーディーな視覚的共有と表現力の向上を意識した授業

### 【であう】

乗法における数量の関係に興味をもち、学習の見通しをもつ  
同じ数ずつのものについてしらべよう。

### 【追究する】

乗法九九の表を構成したり、観察したりして数量関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質などを見いだす。

### 【つかう】

乗法九九の計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり確かめたりする。

## 事例の概要

- 学習支援ソフトに、意見に応じた提出箱を設定し、考えた数え方を提出する。解き方の見通しが立った後、提出箱は相互開示ができるようにしておき、個人解決の際に参照できるようにする。
- 数え方の比較を行いながら本時のめあてに沿ったまとめと振り返りを行う。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- 見通しを立てて、自力解決に取り組む。学習支援ソフトを使って、数え方を提出する。
- 考え方を電子黒板に示し、全体で共有する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- 本時のまとめと振り返りを行う。学習支援ソフトを用いて教師から送られてきた活用問題に取り組み、学習支援ソフトの提出箱に提出する。

# 【算数・小2・かけ算】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



写真 1



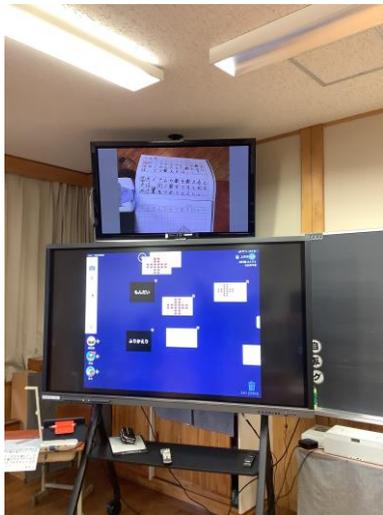
写真 2

自力解決の場面では、タブレット端末を用いて、図に同じ数のまとまりを書き込み、同じ数のまとまりがいくつ分になるか思考していた。（写真 1）

児童は、自分が一番「はやく・かんたんに・せいかくに」数えられる方法を学習支援ソフトを用いて提出していた。また、似た考え方や共通する考え方を電子黒板を用いて、比較検討していた。（写真 2）

多様な考えに一目で触れ、自分の考えと比較・関連付けができるようになる。また、複数の考え方を学習支援ソフトの提出箱を用いて、分類することができる。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



児童の考えを比較検討し分類をしながら、本時のまとめを行った。

振り返りでは、学習支援ソフトを用いて教師から送られてきた活用問題に取り組み、学習支援ソフトの提出箱に児童は提出していた。提出箱は相互開示ができるようにしてあった。

### 【活用したソフトや機能】

- ・プレゼンテーションソフト  
パワーポイント  
(課題提示)
- ・学習支援ソフト  
(自分の考えを提出)  
(考えを共有)  
(課題送信)

モニターが上下にあり、上のモニターに本時のめあてが示されていることで、本時のめあてに対するまとめと振り返りを行うことができる。